**ハンドマイク街頭演説原稿例（追加）　　　勝共連合ビラへの反論**

二〇二三年三月十九日　日本共産党埼玉県委員会・作成

国際勝共連合「日本共産党こそ『反社会的』じゃないの？」ビラへの反論です。

他テーマの原稿に追加して使用してください

　みなさん、最近、国際勝共連合という団体のつくる、「日本共産党こそ『反社会的』じゃないの？」と題するチラシが、このあたりで配られました。すでにご覧になられた方もいらっしゃると思います。この機会に、日本共産党のことを少しご紹介したいと思います。

　日本共産党は、党の基本方針である綱領で、選挙で国民多数の支持を得て社会を変えるという方針をはっきり打ち出し、その立場で日々活動に取り組んでいます。また、日本共産党が参加する政権は、選挙で国民の意見を確認しながらその政治を進めるという方針もはっきり示しています。日本共産党の綱領はホームページなどで簡単に読めますので、興味がありましたらぜひ一度お読みください。

　さてみなさん、配られたチラシには、日本共産党が暴力革命の団体だから警察庁が共産党の動向をマークしているとか、公安調査庁が破防法にもとづく調査対象団体にしているなどと書かれています。しかしながら、公安調査庁は６０年以上日本共産党を調査し続けて、これまで一度も日本共産党を正式に処分するための手続きをしたことはありません。それどころか、処分につながる証拠の一つも出てきません。これこそ、日本共産党が暴力革命の団体でないことの大きな証拠ではないでしょうか。

　そもそも、国際勝共連合という団体は、霊感商法などの反社会的活動をしている統一協会の一体の組織です。日本共産党はいっかんして、統一協会の反社会的活動を告発、追及し、正面から対決してきました。今回のチラシは統一地方選挙を間近に控え、そんな日本共産党のイメージダウンをねらったものなのではないでしょうか。みなさん、日本共産党が暴力革命とは無縁の政党であること、平和的・合法的な方法で社会を変えるために頑張る政党であることを知っていただきたいと思います。